

エコアクション 21

環境経営レポート



活動期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

作成日 令和6年 5月31日

ウォッサン貿易株式会社

- 目次
1. 組織の概要
 2. 環境経営方針
 3. 実地体制(組織と役割分担)
 4. 環境経営目標と実績
 5. 活動計画及び結果と評価
 6. 環境関連法令と順守確認の結果
 7. 代表者による全体の見直しと評価・指示
 8. 活動事例紹介

1. 組織の概要

(1) 事業所名 事業者名 ウォッサン貿易株式会社

(2) 代表者名 代表取締役 岡野 弘吉

(3) 所在地 長野県長野市豊野町石 2651-1

(4) 環境管理責任者及び担当者

経営者: 代表取締役 岡野 弘吉

環境管理責任者: 天利 直樹

環境事務局: 経理 原田 きよ子

(5) 連絡先 TEL 026-225-9166

FAX 026-225-9167

E-mail: wasun@seagreen.ocn.ne.jp

(6) 事業内容(認証・登録の範囲)

建設業 : 土木、とび・土工

長野県知事許可(特-3) 第4231号

有効期限 令和3年10月28日 ~ 令和8年10月27日まで
産業廃棄物収集運搬業は対象範囲外とする

(7) 事業規模

設立 昭和46年

資本金 2500万

売上高 54,000万円

従業員 22名

敷地面積 61m²

事業年度: 4月~3月

環境経営方針

《基本理念》

ウォッサン貿易株式会社は、主に土木工事・法面保護工事という地域環境を保全する仕事を行っております。環境保全に携わる会社として、会社全体そして社員一人一人が、積極的そして継続的に事業活動を行うことによって、事業と環境の調和を計れる環境経営を目指し実践していきます。

《基本行動指針》

環境保全活動を推進するにあたり、以下の活動を掲げ取り組みします。

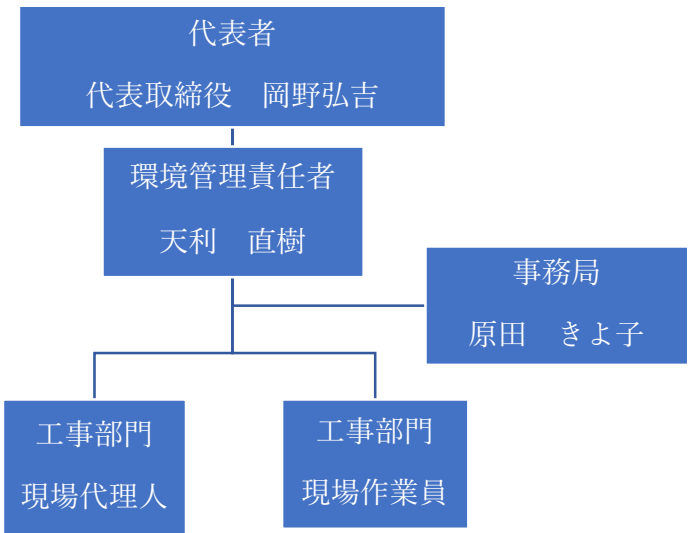
1. 環境関連法規・条例の遵守に努めます。
2. 地域の環境保全を行うため、環境に配慮した設計、施工活動に努めます。
3. さまざまな角度からの地域貢献を考え、実行に努めます。
4. 産業廃棄物の削減に努め、再利用、再資源化を行っていきます。
5. 二酸化炭素排出量の削減、節水に努め、環境負荷軽減を目指します。

制定日：令和4年4月 19 日

ウォッサン貿易株式会社
代表取締役 岡野 弘吉

3. 実施体制

(1) 組織図



(2) 責任及び権限

代表者	・環境経営に関する統括責任。 ・システムの構築・運用及び管理に必要な資源を用意する。 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する。
管理責任者	・システム構築後の運用を監視、結果を代表者に報告。 ・環境関連法規等の取りまとめを行い、遵守状況の確認。 ・環境経営目標・環境経営計画書を把握、確認。 ・環境経営レポートの確認。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己確認の実施。 ・環境目標の作成及び実績のとりまとめ。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
工事部門	・環境経営システムの実施。 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施。 ・環境経営方針の周知。 ・特定された項目の手順書の確認及び運用管理。
全従業員	・環境経営方針と目標を活動計画に従い遂行する。 ・環境経営に自主的・積極的に参加取り組みする。

4. 環境経営目標と実績の推移

環境経営目標・取り組みの基本方針

環境経営方針に基づき、以下の数値目標を設定して環境保全活動を推進する。

1) 環境中期数値目標と結果

※上段計画、下段実績と評価

環境経営目標		令和3年度 (基準年)		4年度		5年度		6年度		記 事
1	CO2排出量 ※1 (ton-CO2)	132.5	目標	131.2	1%	129.8	2%	128.5	3%	
			実績	120	○	167	×			
2	電力使用量の削減 (kWh)	12,985	目標	12,855	1%	12,725	2%	12,595	3%	
			実績	13,471	×	11,408	○			
3	ガソリン使用量の削減 (ℓ)	9,942	目標	9,843	1%	9,743	2%	9,644	3%	
			実績	14,828	×	24,855	×			
4	軽油使用量の削減 (ℓ)	39,749	目標	39,351	1%	38,954	2%	38,556	3%	
			実績	30,535	○	40,214	×			
5	LPG使用量の削減 (kg)	30.0	目標	29.7	1%	29.4	2%	29.1	3%	
			実績	28.0	○	28.0	○			
6	水使用量の削減 (m³)	77.0	計画	76.2	1%	75.5	2%	74.7	3%	
			実績	84.0	×	79.0	×			
7	一般廃棄物の削減 (kg)	1,373	計画	1,359	1%	1,345	2%	1,331	3%	
			実績	1,107.0	○	895.5	○			
8	産業廃棄物削減 (ton)	73.8	計画	73.0	1%	72.3	2%	71.5	3%	
			実績	10.7	○	116.4	×			
9	環境保全活動 ※2 (回)	2	計画	2	-	2	-	3	-	
			実績	2	○	2	○			

※1 CO2排出量算出基準

購入電力排出係数は、中部電力2018年調整後 0.426 kg-CO2/kWhを使用

※2 事務所/工事現場及び周辺の清掃作業等の社会貢献活動

期間中の数値目標と結果の評価

令和4年度と比べての売上高及び受注量に開きがあったので、削減にはつながらなかった。
引き続き注視し削減できる方法を模索していく。

5. 活動の結果と評価、次年度の取り組み

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

	活動計画	評価	取組の成果	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	1. 電力の削減			
	・昼休みの節電(消灯)	◎	節電をテーマにデータ収集を行ったのみだったので、達成されない時もあった。	節電やエアコン設定等の統制を続け、データ収集と結果につなげる。
	・エアコンの温度設定冷房28度、暖房20度	×		
	・待機電気機器のスイッチ節電	△		
	・エアー漏れのチェック	◎		
	2. ガソリン使用量の削減			
	・社有車の日常点検、従業員車2回/年	△	仕事量に多く左右されるため、もう少しデータの蓄積が必要。	運転の安全教育を実施し、日常点検やエコドライブの周知徹底に繋げる。
	・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	△		
	3. 軽油使用量の削減			
	・社有車の日常点検、従業員車2回/年	△	仕事量に多く左右されるため、もう少しデータの蓄積が必要。	運転の安全教育を実施し、日常点検やエコドライブの周知徹底に繋げる。
	・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)	△		
	・適性時期のタイヤ交換(夏/冬、摩耗)	◎		
廃棄物削減	4. 灯油使用量の削減			
	・ストーブの適正温度設定と温度管理	△	データ収集を重きにしたため、引き続き収集し、今後の設定目標に繋げる。	設定温度を定め、引き続きデータ収集に努める。
	・適正な暖房機器の使用	△		
	・休み時間の消化、隙間対策	△		
用水	5. 一般廃棄物の削減(基準年比2%削減)			
	・分別と再生利用の促進	△	この項目も仕事量に左右されるが分別等はおこなっているため、引き続きデータ収集が必要。	さらなる分別の可能性を探り、データ収集を継続しながら削減につながる活動を行う。
	・計量と分別状況の点検	△		
	・ゴミ箱周辺の見回りチェック	○		
G調達	7. 水使用量削減			
	・節水ラベル貼付	×	月々に増減があることがわかった。	ラベル等を張付けて、節水に努め、水の出しっぱなしや閉め忘れのないよう周知させていく。
	・洗車頻度の見直し	△		
社会貢献	8. グリーン調達活動			
	・エコマーク商品の調査と購入	○	インクやコピー紙などエコ製品は購入しているがリスト化まではしていなかった。	使用頻度のたかい製品はリスト化し、エコ製品の購入品目が増えるよう努める。
	・対象品に限らず環境配慮品の優先購入	○		
社会貢献	9. 環境保全活動の推進			
	・会社周辺のゴミ拾い (2回/年)	△	ゴミ拾いは1回しかできなかったの。	環境活動は積極的に提案、参加し、会社周辺の活動は年2回は最低出来るように努めて行く。

6. 適合法令と順守確認

(1) 主な環境関連法令と順守状況

遵守確認日 24.01.25 天利

法規等の名称	要求事項	順守状況
建設リサイクル法	特定建設資材の分別と再資源化	○
	発注者への実施状況の報告	
	実施状況記録の作成と保管	
廃棄物処理法	一般収集運搬業者の許可の確認	○
	マニフェスト伝票の保管	
	産廃収集運搬・処理業者の許可の確認と契約	
	自社運搬時の表示と書類の携行	
騒音・振動規制法	特定施設の届け出	○
	規制基準の遵守	
	県・市町村への事前確認及び届出	
	低騒音型重機の使用	
大気汚染防止法	規制基準の遵守	○
	車両の定期点検	
振動規制法	指定地域内での特定建設作業は届出	○
	地域別振動基準の遵守	
水質汚濁防止法	公共用水域及び地下水への排出規制の遵守	○
	事故時の措置届出	
道路交通法	過積載の禁止	○
	使用車両の定期点検	
	安全運転義務	
消防法	燃料・オイル等の危険物の流出防止対策	○
	消火器・防油堤・吸着マット等の設置	
長野市公害防止条例	特定建設作業の届出	○

(2) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の於いて、違反・訴訟はありません。

又、今年度は苦情と是正対象はありませんでした。

7. 代表者による全体の見直しと評価・指示

環境負荷低減は徐々に社員に周知できたと思うが、データや数字にはまだまだ反映されない部分が多い。引き続き活動を継続し負荷軽減に繋げていきたい。

今後の取り組み

継続した日々のエコドライブによる燃料使用量の削減に努め、去年達成することの出来なかったLED化やソーラー設置を実用化したい。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

	見直しに必要な情報	代表者による全体評価	代表者の指示
環境経営方針	①環境経営方針に示された環境への取り組みの方向性と効果はあるか？	まだまだ初期段階ではあるが、さらなる社員に活動を周知させ、環境負荷の軽減につながるよう日々活動し、データや数値化したものを社員と共有して行きたい。	基本方針の周知を継続して社員に伝えていく。
環境経営目標・ 環境経営計画	環境経営目標、活動が逆効果になっていないか？ 電力 ガソリン 軽油 灯油 水道使用量 産廃量 グリーン購入の推進 地域貢献活動 上記以外での環境活動があるかの模索	社員に周知したが、数値の上では結果は反映されてないように思われる。エコドライブやゴミの分別等引き続き行っていき、環境負荷に繋げていきたい。	さらなる周知を社員に施し、環境負荷とコスト削減に繋げていきたい。
その他の 環境経営 システム	環境負荷の大きな変動の有無 環境関連法規の順守の有無 実施体制の効果度 教育訓練の実施状況 外部からの苦情や要望の有無 運用は適切か 緊急事態の準備と訓練は適切か	数値やデータは改善されていないが、活動は軌道に乗ってきていると思われる。引き続き活動を行うと共にさらに社員に周知していき、改善につなげたい。	周知を欠かさず、継続維持につなげていく。環境関連の情報や変化には常に注視し必要な場合は変更していく。

8. 活動事例紹介

エコ活動の周知徹底



会社周辺の美化活動

